

がん教育教材小学校体育科(保健領域)指導案

第6学年 体育科(保健領域)学習指導案

1 単元名「病気の予防」

2 単元の目標

病気の予防について理解するとともに、身近な健康に関わる課題を見付け、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

3 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めることおよび望ましい生活習慣を身につけることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること、更に、地域において保健に関わるさまざまな活動が行われていることなどを理解している。	病気の予防や回復に関わることから課題を見つけ、病気を予防する視点から解決の方法を考え、適切な方法を選び、それらを表現している。	学習活動に粘り強く取り組む中で、健康の大切さに気づき、病気の発生要因や予防についての学習活動に進んで取り組もうとしている。

4 単元について

(1)教材観

新学習指導要領では、小学校体育科の目標を「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたっての心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。」としている。

保健領域における見方・考え方は、「社会の変化に伴う現代的な健康に関する課題の出現や、情報化社会の進展により様々な健康情報の入手が容易になるなど、環境が大きく変化している中で、児童が生涯にわたって正しい健康情報を選択したり、健康に関する課題を適切に解決したりすることが求められる。」とされている。その際には、「保健に関わる原則や概念を根拠としたり活用したりして、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、さらには健康を支える環境づくりを目指して、情報選択や課題解決に主体的に取り組むことができるようにすることが必要であることを示したものである」とされ、このような見方・考え方を働かせることができるような学習過程を工夫することが求められる。

がん教育の目標は「①がんについて正しく理解することができるようにする。がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気付き、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す

態度を育成する。」とあり、生涯国民の二人に一人がかかると推測されるがんは、児童にとって現在または将来直面するであろう課題として、適切な思考・判断を通して自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるように指導していかなければならない。

(2)指導観

児童は第6時までの学習で、病気の発生には様々な要因があること、長期間の喫煙や飲酒、薬物の乱用が健康を損なう原因となることを学んでいる。前時の第7時の学習では、生活習慣病との関連から初めてがんのことに詳しく学習する。がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践的な力を育成したい。その際には、養護教諭とのTT授業を行うなどの連携を図り、児童へのがんへの正しい知識の習得を図っていききたい。その際には、地域の保健活動が健康の保持増進と関わっていることにも気付かせたい。また、がん教育の指導を行う際には児童の中に小児がんの当事者や家族にがんで亡くなった人がいるか、重病・難病等で闘病中や亡くなった身近な人がいるか等、十分に配慮して指導を行っていききたい。

本時(第8時)の学習では、導入場面でがんを告知されたときの患者の気持ちについて想像させることで、児童ががん患者の感情や気持ちを自分事として捉えることができるようにする。展開場面においては、がん教育講師の講義からがん患者の生活の変化や治療方法などについて知り、がん治療やがん患者への理解を図っていききたい。まとめの場面においては、がん教育講師の講義を通して命の大切さに気付かせたい。その際に、自己の生き方や今の自分にできることは何かについて考える場面を設け、互いに考えを交流する活動を通して、自身で健康を守ることや命の大切さ、共に生きる社会づくりに寄与する資質・能力の育成に繋げたい。

5 指導と評価の計画 8時間

時	目 標	知	思	態	評価規準・評価方法
1	病気の起こり方 【目標】病気は病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こることを理解できるようにする。			○	病気の予防について、教科書で調べたり、話し合ったりする過程で、他者の考えも受け入れながら意欲的に取り組もうとしている。(観察・ノート)
2	感染症の予防 【目標】病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高める事が必要であることを理解できるようにする。	○			感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めること、安静にすることで回復を早めることが必要であることを、言ったり書いたりしている。(観察・ノート)
3	生活習慣病の予防① 【目標】生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身につける必要があることを理解できるようにす	○			心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防には、適切な運動を行い、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身につける必要があることを言ったり書

	る。			いたりしている。(観察・ノート)
4	生活習慣病の予防② 【目標】むし歯や歯周病を予防するには、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身につける必要があることを理解できるようにする。		○	むし歯、歯周病などの生活習慣病の予防について、自分自身の生活を振り返って課題を見つけ、その解決に向けて考えたり、伝え合ったりしている。(観察・ノート)
5	喫煙の害や飲酒の害と健康 【目標】喫煙や飲酒は健康を損なう原因となることを理解できるようにする。		○	喫煙の害や飲酒と健康について関心を持ち、生活場面を思い起こしながら、学習に意欲を持って取り組もうとしている。(観察・ノート)
6	薬物乱用の害と健康 【目標】薬物乱用は健康を損なう原因となることを理解できるようにする。		○	薬物乱用の害について、自分の今後の生活に無関係なものであるための方法を考えたり、伝え合ったりしている。(観察・ノート)
7	生活習慣病とがんの理解 【目標】がんの要因やがんのリスクを低くする生活行動及び早期発見のための検診の大切さについて正しく理解できるようにする。	○		がんの要因やがんのリスクを低くする生活行動について、自分や家族の生活を具体的に考えたり、伝え合ったりしている。 (観察・ワークシート)
8	がんの理解と保健活動(本時) 【目標】自分の健康は自分で守る大切さに気づくとともに、講師の話からがん患者の生活や心情、命の大切さについて考え、交流することができる。		○	健康や安全、命の大切さに気づき、がんの予防についての学習に進んで取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)

6 前時の学習(7/8時間)

(1)本時の目標


○がんの要因やがんのリスクを低くする生活行動及び早期発見のための検診の大切さについて正しく理解することが出来る。

(2)本時の展開

	主な学習内容・活動	PP 番号	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>1 前時までの学習を想起する。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙や飲酒, 薬物乱用が体に起こす害を思い起こす。 ・日本人の死因の内訳(がんは日本人の死亡原因1位)や日本人ががんになる確率(2人に1人ががんになり, 3人に1人ががんで亡くなっていること)を知る。 <p>2 めあてをつかむ。(T1)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	○がんについて正しい知識を持つ必要性を感じさせる。
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>がんを正しく理解し,自分にできることを考えよう</p> </div>		
展開	<p>3 がんになる原因は何だと思うか自分の考えを付箋紙に書き, 画用紙に貼る。(T1)</p> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこの吸い過ぎ ・紫外線の浴びすぎ ・睡眠不足 ・遺伝 ・食品添加物 ・お酒の飲み過ぎ ・食事の偏り ・病原体やウイルス ・運動不足 ・魚や肉のこげを食べた 	4	○同様の考えごとに画用紙に貼り付け, 学級全体の考えが把握しやすいようにする。
35分	<p>4 がんについて正しい知識をもつ。(T2)</p> <p>(1)細胞の変化・がんになる仕組み</p> <p>(2)早期発見の大切さ</p> <p>(3)地域の保健活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診 ・定期健診(がん検診) ・予防接種 ・小学校での健康診断 ・健康相談 ・情報の提供 <p>(4)がんのリスクを高める要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度の飲酒 ・喫煙 ・偏った食事 ・長寿 ・原因不明 ・運動不足 	<p>5~12</p> <p>13~15</p> <p>16~18</p> <p>19~21</p>	<p>○スライドで視覚的に理解させる。また, 付箋紙に書いた自分の考えと照らし合わせながら学習に参加させることで集中力を持続させる。</p> <p>○早期発見のがんは9割近く治る。検診や早めの受診・正しい情報を得ることの大切さをおさえる。</p> <p>○がん患者全てが生活習慣の乱れによるものではなく, 気をつけて生活していても原因が解明できずがんになる場合もあることをおさえる。</p>
	<p>5 自分や家族が健康に生活していくために, できることを考える。(T1)</p> <p><予想される反応></p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・将来飲酒や喫煙をしない ・家族に検診や禁煙をすすめる・適度な運動をする <p>6 学習をまとめる。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドで「今日の学習のポイント」を確認する。 ・ワークシートにまとめを書く。 		<p>◆がんの要因やがんのリスクを低くする生活行動について、自分や家族の生活を具体的に考えている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> <p>○スライドで本時の学習を確認し、ワークシートに記入することで学習を確実におさえる。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>7 ふりかえりをする。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で自分の考えが深まったり,広がったりしたことを書いてまとめる。 		

7 板書計画

<p>11/4 病気の予防</p> <p>これまでの学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこの煙に有害物質 (肺がんや心臓病など) ・アルコール (脳の働きを低下・がん) 	<p>めあて</p> <p>がんを正しく理解し, 自分にできることを考えよう。</p>	<div data-bbox="432 1243 738 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>がんとは…体の中で悪い形の細胞のかたまりが増えていく病気。</p> </div> <div data-bbox="400 1368 805 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域の保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診, 検査 ・健康相談 ・予防接種 ・乳児, 幼児検診 </div> <div data-bbox="863 1355 1437 1512" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家族や自分の健康のためにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒や喫煙をしない。 ・家族に禁煙をすすめる。 ・適度な運動をする ・バランスのとれた食事をする。 ・家族に検診をすすめる。 ・家族でも健康について話し合う。 </div> <div data-bbox="738 1547 850 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> </div> <div data-bbox="863 1525 1417 1644" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>がんは誰でもなる可能性の病気である。</p> <p>がんになる確率を低くするために生活習慣の見直しや検診を受けることで, かかりにくくすることができる。</p> </div>
---	---	--

8 外部講師を活用した授業の指導案

本時の学習(8/8時間)

(1)本時の目標

○がん患者の話から、自他の健康や命の大切さ、自己の生き方について考え、交流することができる。

(2)本時の展開

	主な学習内容・活動	○指導上の留意点, ◆評価の観点と方法
導入 5分	<p>1 前時までの学習を振り返る。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんは、体の中で悪い形の細胞のかたまりが増えていく病気であること。 ・日本人の死因の内訳1位はがんで、2人に1人がなり、そのうちの3人に1人ががんで亡くなること。 ・生活習慣や日々の行動を見直すことが健康の保持増進につながる。 <p>2 がん告知の時の患者の心境について想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信じられない ・どうしよう ・こわい <p>3 めあてをつかむ。(T1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>健康と命の大切さについて考えよう</p> </div>	<p>○前時までの掲示物やスライドをいかして想起させる。</p> <p>○3年生の学習内容「けんこうな生活」とも関連させるようにする。</p> <p>◆がんについて正しく理解している。(観察)</p> <p>○講話の前と後で、想像した心境の変化が分かるように板書する。</p>
展開 35分	<p>3 がん教育外部講師を紹介する。(T1)</p> <p>4 がん教育外部講師のお話をする。(T2)</p> <p>①病名 ②告知時の年齢 ③治療方法 ④告知された時の気持ち ⑤つらかったこと ⑥告知前とその後の生活の変化 ⑦現在の生活の精神的支え ⑧子ども達に伝えたいこと</p> <p>5 がん教育講師への質疑応答</p> <p>6 講師の話聞いて、自己の生き方や今の自分にできることは何かについて考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は「なぜ？」という気持ちがあったが、前向きに生きようとしていることが分かった。 ・がん検診を受診することが、がんの発見に繋がること分かった。 ・限りある命を自分らしく生きている。 <p>7 3人グループで自分の書いた内容を発表し考えを交流し合う。</p>	<p>○適宜スライドや掲示物で講話の内容を紹介する。</p> <p>○がんの要因についても、生活習慣や行動に気をつけることでがんになるリスクに低くなることに触れる。</p> <p>○早期発見のがんは9割近く治ることや検診や早めの受診・正しい情報を得ることの大切さをおさえる。</p> <p>◆健康や安全、命の大切さに気付き、がんの予防についての学習に進んで取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)</p>

ま と め 5 分	8 学習をまとめる。(T1)	○児童の発言をひろいつつまとめにつなげるよ うにする。 ○振り返りの視点を提示する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分の健康は自分で守り、有限性のある命を自分らしく輝いて生きていく。 </div>	
	9 学習の振り返りをする。(T1) ・今日の学習で自分の考えが深まったり,広がったりしたことを書いてまとめる。	

9 板書計画

10/22 病気の予防

めあて：健康と命の大切さについて考えよう

- ・がんとは・・・体の中で悪い形の細胞のかたまりが増えていく病気であること
- ・日本人の死因の1位ががんで2人に1人ががんになり、そのうち3人に1人が亡くなる。

がんを告知された時の心境（予想）

- ・なぜ自分ががんになるんだろう。
- ・信じられない。
- ・どうしよう。・こわい。

まとめ

自分の健康は自分で守り、有限性のある命を自分らしく輝いて生きていく。

振り返り

前回のまとめ

がんは誰でもなる可能性の病気である。がんになる確率を低くするために生活習慣の見直しや検診を受けることで、かかりにくくすることができる。

自己の生き方や今の自分にできることは何だろうか。

- ・なぜ？→前向きに生きている。
- ・がん検診ががんの早期発見につながる。
- ・限りある命（有限性のある命）を自分らしく生きている。

- ・これからの生活や生き方にいかしたいこと
- ・意見交流で考えたこと